

平成 29 年度 指定管理者年度総合評価表

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月実施分)

作成日	平成 30 年 6 月 8 日
-----	-----------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市史跡根城の広場	
所在地	八戸市大字根城字根城、字東構、字下町、字西ノ沢、根城八丁目地内	
施設概要	八戸市博物館の野外学習施設として設置 市民等の歴史学習の場、憩いの場に資することを目的とする。 中世城郭である国史跡根城跡を復原整備した史跡公園（整備面積約 30,000 m <sup>2</sup> ） 復原建物関係……主殿、馬屋、工房、鍛冶工房、板蔵、門、柵、塀、四阿等 植栽関係………薬草園、張り芝、実のなる木、鑑賞の対象となる木、シダレザクラ・イチイ・ツツジ等の植栽物	
指定管理者	名称	公益社団法人八戸観光コンベンション協会
	代表者	会長 塚原 隆市
	所在地	八戸市内丸一丁目 1 番 2 号
指定期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根城の広場で行う事業の企画及び実施に関する業務</li> <li>・根城の広場の施設、設備等の維持管理に関する業務</li> <li>・根城の広場の管理業務に付随して必要となる附帯業務</li> <li>・その他八戸市教育委員会が必要と認める業務</li> </ul>	
市所管課 (問合せ先)	教育委員会 博物館	
	電話	0178-44-8111 (直通)
	E-mail	haku@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理に当たっては、市所管課と綿密な打合せをし、管理運営を行ってきた。特に豪雨の際には、水捌けが悪い法面の崩れなどに対し、市所管課の指導を受け、被害の拡大を防ぐための対応に務めた。また、日頃より、復原建造物の破損や広場内の倒木・枝折れなどに対しては特に注意を払い、広場利用者の安全を確保するため、迅速な修繕などに努めた。</li> <li>・消防活動及び避難訓練を 2 回行ったほか、救命救急講習の受講により AED の使用方法を習得するなど、職員の防災意識の啓蒙を図り、緊急時に早急な対応ができるように体制を整えた。</li> <li>・根城を印象づけるため、4 月 6 日の「城の日」に職員が戦国武将の鎧や小袖の着物姿で来場者をお出迎えし、来訪者へオリジナルキーホルダーをプレゼントした。</li> <li>・PR ポスターやチラシを作成し、日本百名城の各施設及び県内主要施設へ配布した。また、ホームページ、Facebook 及びスタッフによるブログなどを定期的に更新し、県内外への情報配信を行った。</li> <li>・史跡根城さくらまつり、史跡根城まつり、根城おもしろ講座などの各種事業を継続で開催している。「史跡根城・えんぶり撮影会」は好評を博しており、えんぶり写真コンテストにおいても、毎年撮影会での作品が入賞するなど、PR の相乗効果が見られた。</li> <li>・はちのへ総合観光プラザにおいて、観光客に対し市内の観光名所として根城を紹介し、誘客を図っている。</li> <li>・冬の集客のために始めた通年型体験工房（八幡馬の絵付け、烏帽子の制作等）では、特に八幡馬の絵付けが好評となり、利用者が昨年度の 1.4 倍となった。さらに、当協会の着地型旅行商品「ローカル旅」のパンフレットでも紹介し、集客につながっている。</li> </ul>
----	--

今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化が進む中で、保守管理は日常点検を強化するとともに、市教育委員会との連携を図り、引き続き広場利用者の安全を確保する。</li> <li>・4月6日「城の日」に、より効果的な根城のPRを行う。</li> <li>・鎧・小袖無料着付け体験について、ゴールデンウィーク期間の実施が毎回好評なことから、10月から11月までの間に体験期間を6日間増やし、集客を図る。</li> <li>・旅行雑誌などの取材に積極的に対応し、露出度を高める。</li> <li>・桜の開花の時期に訪れる外国人観光客が年々増加している中、はちのへ総合観光プラザと連携して、根城のしだれ桜のPRを行い、誘客を図る。</li> <li>・おもしろ講座の内容について、利用者のニーズを把握し、来場者の増加を図る。</li> <li>・ボランティアガイドグループとの連携を密にし、広場利用者への充実を図る。</li> <li>・来訪者のアンケート調査を集約し、利用促進に活用する。</li> <li>・着地型旅行商品の企画の中に、積極的に根城を取り込む。</li> <li>・職員の意識向上のため、根城の研修や救命救急講習会へ参加する。</li> </ul>
-------	---

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定書、業務基準書及び事業計画書に基づき、全体的に良好な管理運営がなされていた。</li> <li>・復原建物や設備の維持管理のほか、草刈り作業、芝生育成管理業務、植栽管理業務が適切に実施され、施設が良好な状態で維持されていた。27年度には八戸市景観賞を受賞しており、来場者へのアンケート調査では、復原建造物や景観等の全体的な印象において、毎年高評価を得ている。（29年度の満足度91.5%）</li> <li>・被害の大きかった台風や暴風雨の際には、見回り点検や被害箇所の応急処置のほか、枝葉の撤去等を迅速に行い、来場者の安全確保に努め、職員が対応できるものについては速やかに補修作業を実施するなど、災害等の緊急事態への対応が良く行われていた。</li> <li>・根城おもしろ講座をはじめ、史跡根城さくらまつりや史跡根城・えんぶり撮影会など、各種事業を継続して多数実施したことで、施設のPRと入場者数の増加につながった。（入場者数前年度比116.0%）</li> <li>・NEXCO東日本高速道路(株)東北支社八戸管理事務所との協力によるサービスエリア内での広告や、Facebookによる情報発信により、市外在住者へのPRが図られた。</li> </ul>
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ休場日を減らし、サービスの向上に努めていた。 ・休場日に2回臨時開場した。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	◎	業務基準書に示された配置基準以上の人員を配置していた。 ・史跡根城まつりや各種自主事業では、更に人員を増員し対応した。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。 ・最低賃金等の労働関係法令が遵守されていた。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容と概ね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・地域の公園の清掃活動を実施していた。

従事者の教育・研修	◎	従事者の教育や研修が非常に良く行われていた。 ・ A E D 研修会や救命講習会のほか、博物館主催の講座にも職員を参加させていた。
緊急事態への対応	◎	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が非常に良くできていた。 ・ 強風や大雨の際には、見回り点検、施設・設備の応急処置等迅速な対応を行っていた。 ・ 消防計画を作成し、適正に消防訓練を実施した。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画書、月例業務報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
使用料の徴収事務	○	使用料の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・ 通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度まで及び26年度から30年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度まで及び26年度から30年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・ 警備業務、消防設備保守点検業務、浄化槽維持管理業務、植栽管理等業務、草刈り作業等業務、芝生育成管理等作業業務、ごみ収集業務はそれぞれ外部業者に委託していた。 ・ 月例業務報告書及び一部現地確認により、実施状況を確認した。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明																											
入場者数の状況	◎	入場者数は、前年度を上回った。 28年度実績 15,780人 29年度実績 18,309人 ・前年度比2,529人増加（対前年度比116.0%）																											
根城おもしろ講座開催状況	○	参加者数は前年度実績を下回ったが、前年度並みであった。また、アンケート調査では、参加者の満足度が高かった。 28年度実績（講演会3回、体験講座7回）276人 29年度実績（講演会3回、体験講座7回）258人 ・前年度比18人減少（対前年度比93.5%） ・希望者には講座の案内を送付し、周知に努めていた。 ・毎回アンケート調査を実施し、参加者が関心の高いテーマの把握に努めていた。																											
史跡根城まつり開催状況	○	入込数は、前年度実績を上回った。 28年度実績 1,170人 29年度実績 1,680人 ・前年度比510人増加（対前年度比143.6%） ・根城の歴史と郷土に対する認識を深めることを目的に、伝統的な文化芸能など市民とともに親しめる催物を企画し毎年開催している。28年度に引き続き、雨天のため規模を縮小しての開催となったが、入込数が大幅に増加した。このことから、地域の恒例行事として定着しているものと思われる。																											
自主事業	◎	自主事業を多数実施し、入場者増等に大きな効果があった。 <table border="1" data-bbox="635 1081 1457 1440"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>事業名</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/29～5/7</td> <td>史跡根城(主殿)で鎧・小袖を着よう</td> <td>552人</td> </tr> <tr> <td>4/30</td> <td>史跡根城さくらまつり</td> <td>1,850人</td> </tr> <tr> <td>5/22</td> <td>根城記念祭</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>9/11</td> <td>根城南部杯グラウンド・ゴルフ大会</td> <td>433人</td> </tr> <tr> <td>2/18・19</td> <td>史跡根城・えんぶり撮影会</td> <td>495人</td> </tr> <tr> <td>通年</td> <td>ものづくり体験工房（56回開催）</td> <td>251人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">29年度参加者合計</td> <td>3,672人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(28年度参加者合計)</td> <td>(2,802人)</td> </tr> </tbody> </table> ※ 前年度比870人増加（131.0%）	期間	事業名	参加者	4/29～5/7	史跡根城(主殿)で鎧・小袖を着よう	552人	4/30	史跡根城さくらまつり	1,850人	5/22	根城記念祭	91人	9/11	根城南部杯グラウンド・ゴルフ大会	433人	2/18・19	史跡根城・えんぶり撮影会	495人	通年	ものづくり体験工房（56回開催）	251人	29年度参加者合計		3,672人	(28年度参加者合計)		(2,802人)
期間	事業名	参加者																											
4/29～5/7	史跡根城(主殿)で鎧・小袖を着よう	552人																											
4/30	史跡根城さくらまつり	1,850人																											
5/22	根城記念祭	91人																											
9/11	根城南部杯グラウンド・ゴルフ大会	433人																											
2/18・19	史跡根城・えんぶり撮影会	495人																											
通年	ものづくり体験工房（56回開催）	251人																											
29年度参加者合計		3,672人																											
(28年度参加者合計)		(2,802人)																											
その他の取組 (運営に関する工夫)	◎	自主的な取組を行った結果、サービスの向上に大きな効果があった。 ・前年度に引き続き4月6日（城の日）に、職員が戦国武将の鎧や小袖の着物姿で来場者を出迎えた。 ・報道機関を利用し史跡根城さくらまつりをPRすることで、ゴールデンウィーク期間の集客につながった。（特に、ゴールデンウィーク期間中毎日開催する特別企画「史跡根城（主殿）で鎧と小袖を着よう」のPRが効果的であった。） ・雨傘や日傘、靴カバーを用意し、来場者が快適に見学できるよう配慮していた。																											

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																	
指定管理業務の収支状況	○	<p>収支計画を達成し、黒字であった。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収入①</td> <td>指定管理料</td> <td>38,027,000</td> <td>38,027,000</td> <td>38,019,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>987</td> <td>987</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38,027,987</td> <td>38,027,987</td> <td>38,019,900</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出②</td> <td>人件費</td> <td>13,492,000</td> <td>12,549,900</td> <td>12,341,053</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>21,892,987</td> <td>21,511,052</td> <td>21,677,214</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>1,543,000</td> <td>1,543,234</td> <td>1,489,851</td> </tr> <tr> <td>租税</td> <td>1,100,000</td> <td>1,122,742</td> <td>1,113,415</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38,027,987</td> <td>36,726,928</td> <td>36,621,533</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>117,714</td> <td>987</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①－②－③)</td> <td>0</td> <td>1,183,345</td> <td>1,397,380</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	指定管理料	38,027,000	38,027,000	38,019,000	修繕料繰越金	987	987	900	計	38,027,987	38,027,987	38,019,900	支出②	人件費	13,492,000	12,549,900	12,341,053	維持管理経費	21,892,987	21,511,052	21,677,214	事業費・一般事務費	1,543,000	1,543,234	1,489,851	租税	1,100,000	1,122,742	1,113,415	計	38,027,987	36,726,928	36,621,533		次年度修繕料繰越金③	0	117,714	987		収入－支出(①－②－③)	0	1,183,345	1,397,380
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																															
収入①	指定管理料	38,027,000	38,027,000	38,019,000																																															
	修繕料繰越金	987	987	900																																															
	計	38,027,987	38,027,987	38,019,900																																															
支出②	人件費	13,492,000	12,549,900	12,341,053																																															
	維持管理経費	21,892,987	21,511,052	21,677,214																																															
	事業費・一般事務費	1,543,000	1,543,234	1,489,851																																															
	租税	1,100,000	1,122,742	1,113,415																																															
	計	38,027,987	36,726,928	36,621,533																																															
	次年度修繕料繰越金③	0	117,714	987																																															
	収入－支出(①－②－③)	0	1,183,345	1,397,380																																															
自主事業の収支状況	○	<p>収支計画を概ね達成し、黒字であった。</p> <p>収入 940,652 円 (計画 880,000 円、前年度実績 869,332 円)</p> <p>支出 747,846 円 (計画 775,000 円、前年度実績 781,391 円)</p> <p>収入－支出 192,806 円</p>																																																	

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	<p>利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時、施設内にアンケート用紙を設置し、来場者の意見・要望等に応えるよう配慮していた。全体的な印象(復原建造物・景観等)、展示内容、案内板・説明版・リーフレット等の内容の満足度は、平均 84.8%であった。</li> <li>・「根城おもしろ講座」では、毎回、参加者にアンケート調査を実施し、満足度は平均 88.7%であった。</li> </ul>
施設概要(利用方法)の周知	○	<p>施設概要や利用方法等を、ホームページや SNS、ポスター・チラシ、各種広告等で積極的に周知していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターやチラシを県内外の公共施設、道の駅、市内宿泊施設等へ配布した。</li> <li>・ホームページでは、スタッフのブログ形式で行事の案内や施設の様子を紹介するなど、こまめな情報発信に努めていた。</li> </ul>
苦情・要望等の受付体制	○	<p>苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケート調査の中で、意見・要望等を受け付けていた。</li> <li>・施設内 2 箇所にアンケート回収箱を設置していた。</li> </ul>
苦情・要望等への対応	○	<p>苦情・要望等に対し、適切に対応していた。</p> <p>28 年度実績 27 件 (苦情 2 件、意見・要望 25 件)</p> <p>29 年度実績 20 件 (苦情 0 件、意見・要望 20 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の結果は月例業務報告書で市へ報告し、可能なものは随時対応していた。</li> </ul>
個人情報の保護	○	<p>個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)</p>
情報公開	○	<p>情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)</p>

秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、職員に随時注意を促すなど、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内の建造物は毎日の清掃時に、備品は年に2回の点検を行い、必要と思われる事項については、その都度市へ報告した。</li> <li>来場者へのアンケート調査の結果について、可能なものは随時対応していた。</li> </ul>

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例業務報告書、年間業務報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	13回	4月26日	担当	施設の管理運営に関する意見交換
		5月18日	館長、副館長、担当	帳簿類の確認
		7月25日	担当	大雨による被害状況の確認
		9月10日	担当	大雨による被害復旧状況の確認
		9月18日	担当	台風18号による被害状況の確認
		10月13日	担当	備品の確認
		10月24日	副館長、担当	修繕実施状況の確認
		10月27日	担当	台風21号による被害状況の確認
		11月10日	副館長、担当	修繕実施状況の確認
		11月17日	担当	暴風による被害状況の確認
		12月15日	担当	台風による被害復旧状況の確認
		3月6日	館長、副館長、担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>29年度の収支状況の確認</li> <li>30年度の事業計画及び収支計画に関する打合せ</li> <li>PR活動に関する意見交換</li> </ul>
		3月28日	副館長、担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕実施状況の確認</li> <li>備品の確認</li> </ul>
<b>実施結果</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>上記のほか、各種事業の実施状況及び施設の維持管理状況を必要に応じ随時確認した。事業の実施及び施設の維持管理は、適切に行われていた。</li> <li>台風や暴風雨の際には、被害箇所の応急処置や復旧作業を迅速に行っていた。</li> <li>帳簿類は整備され、事務処理も適正に行われていた。</li> </ul>				